

# にしのおいけ

社会福祉法人 平成会

住 所 東広島市高屋町小谷 5001-5  
TEL (082) 434-0405  
FAX (082) 434-5599  
メール [heiseikai@nishinoike.or.jp](mailto:heiseikai@nishinoike.or.jp)  
HP <http://www.nishinoike.or.jp/>  
編 集 (社福) 平成会 広報部  
発行者 (社福) 平成会理事長 赤坂 秀則

第 80 号

(平成 29 年 4 月 1 日)



## 西の池学園ショートステイ

### 「育った場所で」

平成会の事業所の一つであるデイセンターこだまに通所されているAさんのお家がリフォームを行うにあたり、その間Aさんは西の池学園で長期のショートステイを利用されました。その事について、Aさんのお母さんよりご寄稿頂きました。

昼間には、機嫌が良くても悪くても、大きな声で叫びながらドスンと部屋を走り回ったり、夜中には急に悲鳴のような声を出したりと、近所に申し訳なくて身が縮む思いをすることがあります。

我が家は不便な場所にあり、いつかはJR駅近くに引っ越したいと思っていましたが、息子のこのような行動を受け入れてもらえる新しい人間関係を作る事は困難だろうと、家族で話し合い、不便でも息子が子どもの頃から受け入れてもらっているこの地に住み続けようと結論を出しました。それならば近所の人たちに我慢してもらう事が少なくなるように、そして私たちの新たなスタートを切る為に家の改築をする事にしました。

息子が家に居る日に設計士さん、現場監督さんが打ち合わせに来られ、大きな体で階段を数段飛び降りたり、力強く床を踏みしめながらドンドンする姿を見て、床の強化や防音の必要性を実感され、私たちの要望があげさでない事を確認してもらいました。

2か月間の工事期間中はショートステイを利用し、学園とこだまの往復と時々ヘルパーさんとの外出などで、なるべく普段と変わらない生活を送れるよう計画を立てていただきました。

なぜ家に帰れないのかを理解できるよう伝えることや、見通しの持てる生活を送れるよう、色々と工夫して頂き大きな混乱もなく生活することが出来たようです。規則正しい生活を送れ、帰宅する頃には家に居るより穏やかな表情になっていました。

工事中の生活をどうするかが一番の心配事でしたが思い切って相談し、協力して頂いたことでこの期間を乗り切る事が出来ました。本当にありがとうございました。

工事が無事に終了し、帰宅した息子はきれいになった家を嬉しそうに探検し、新しくなった自分の部屋も気に入ってくれたようです。

今も以前と変わらず大声をだすことがありますが、私は焦る事なく見守る事が出来、近所の方は「Aくんの声が聞こえなくなって寂しいよ」と言って下さいます。

迷惑をかけるのはお互い様・・とはいえ普段の生活の中で頭を下げることも多々ありますが、これから先も穏やかなご近所付き合いでお互いに安心して生活できるよう努めていきたいと思っています。

デイセンターこだま Aさんのお母さん より



作業に取り組むAさん

## 共生社会創出に向けて

このたび、高屋町宮領地区に、男性用グループホーム「ホーム第1宮領」を新築・オープンすることができました。関係者の皆様のご理解とご支援、特に補助金を交付いただいた公益財団法人JKAに対し心から感謝申し上げます。

グループホームは障害のある方が地域で生活する際の拠点となるもので、いま最も必要とされている施設の一つです。

ホーム第1宮領の定員は5名ですが、部屋は7室あり、うち2室は地域の方の緊急のご利用のためのものです。当ホームは、相談支援センターを併設しています。

さて、今年度は、当ホームの近接地で、生活介護事業所の建設に着手いたします。そして、来年度以降になります。その隣接地に多機能型就労支援センターを建設し、ここでは、あおぞらばん屋さんの機能拡張を図ると共に、当法人の通所利用者への昼食提供や施設の清掃等の業務を請け負う計画です。また、同センターには、企業主導型の保育所を併設することも考えています。

こうした計画が進んでいくと、将来的には当地に、第2・第3のグループホームと共に、ヘルパーステーションや介護タクシー、さらに高齢者のケアマネジャーのニーズが出てくるでしょう。

そこで、想像してみてください。当地区に「共生社会」が出現している姿を。障害のある方もない方も、子どももお年寄りも、みんな一緒に地域の中で普通に生活している姿を。

障害のある方はその想いを伝えることが困難で、「コミュニケーション」の面で生活のしづらさを抱えておられます。しかし、その生活のしづらさの内容や程度を周りのものが理解すれば、地域で共に暮らしていくことができます。

そうした公平で優しさのある社会の創出を、私たちは目指しています。皆様の一層のご理解を賜りますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

宮領地区整備準備室長

呼川 秀邦

### 送迎車を整備しました

この度広島県共同募金会より、平成28年度NHK歳末たすけあい助成金の交付を受け、日産キャラバンを整備しました。利用者の送迎や外出に、永く大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

赤い羽根共同募金  
NHK歳末たすけあい助成



### 平成会サークル活動

アフターファイブを利用して、週に1回のペースでビーチボールバレーをしています。参加人数が20人近くおり、男女仲良く和気あいあいと楽しく活動しています。職場だけではなく地域の方達と一緒に練習したりと、つながりがどんどん広がっています。

西の池学園 支援員 岡田 峰花

